

I 会津若松市食育意識調査概要

1 調査目的

平成17年に食育基本法が制定され、その中で食育は「生きる上での基本であって、教育の3本柱である知育、徳育及び体育の基礎となるもの」「様々な体験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」と位置づけられており、平成18年3月には食育基本計画を決定、国をあげて食育推進が図られています。

本市においても、市民運動として「食育」を進めるため平成23年3月「会津若松市食育推進計画」を策定しました。

計画の進行管理において、市民の食の実態と現状値を把握し、23年度以降の「食育」を進める際の数値目標の設定や評価のための基礎資料とするものです。

2 調査設計

(1) 調査対象及び調査期間

対象者	標本数	抽出方法	調査方法	調査期間
20歳～79歳の男女	1,560件	無作為抽出法	郵送	12月

(2) 調査内容

- ア) 朝食の摂取状況
- イ) 食材を購入する時の優先度
- ウ) 会津産の食材や料理を食べるようにしている人の状況
- エ) 行事食・郷土料理への関心度

(3) 標本率

対象者(年齢)	性別	標本数	回収数(件)	回収率(%)	回収数・回収率
20歳代	男	150	16	10.7	20歳代計
	女	150	32	21.3	
30歳代	男	150	29	19.3	30歳代計
	女	150	46	30.7	
40歳代	男	120	27	22.5	40歳代計
	女	120	43	35.8	
50歳代	男	120	39	32.5	50歳代計
	女	120	42	35.0	
60歳代	男	120	54	45.0	60歳代計
	女	120	67	55.8	
70歳代	男	120	71	59.2	70歳代計
	女	120	54	45.0	
20歳～79歳の男女	男	780	236	30.3	全年代合計
	女	780	284	36.4	